


とある王国から徒歩数日ほど移動した場所にあるダンジョン、通称「淫魔の住処」  
このダンジョンでは命の危険性は無く、貴族達が超高額で買い取ってくれる秘薬の原料「ピンクスライムの粘液」  
採取できる場所でもある。

しかし、命の危険が無いにも関わらず冒険者達も依頼を受けてくれないため  
原料が希少な物となっていた。  
それは、このダンジョンが見た目以上の高難度で餌食になった者の悲惨な末路がよく知られていたからだった。

王国の場末で錬金屋を営むリナ・キュリアスの店は赤字が続いており  
なんとかしようと秘薬の販売に目をつける。  
しかし、数ヶ月前に出したはずの依頼は達成されないまま放置されていた。

しびれを切らしたりナは金欠を理由に護衛を雇わぬまま「淫魔の住処」に挑んでいた。



ここが「淫魔の住処」…なんだかジメジメしてて  
生臭いような…あんまり長居したくないな…  
まったく…たかがスライムの粘液を取ってくるくらいなのに  
誰も依頼を受けてくれないなんて…

今月の家賃もヤバイしきつさと秘薬を作って貴族どもに  
売り払ってやろう。

そろそろ我慢の限界が近い……  
ピンクスライムは新鮮な人間の体液…特に匂いが拡散しやすい尿が  
一番楽におびき寄せることができるらしい。

だからこうして昨夜に水をガブ飲みしてから今朝はトイレに行かず  
ダンジョンまで我慢してきた。





うっ！...や...ヤバい...ち、ちよつと漏れた...  
一歩踏み出すたびに膀胱が決壊しそう...っ！

最初からここで出すつもりで来たけど...  
漏らすのは違う...

うっ...

7!...

7!...

7!...



持っていた杖やランタンを投げ捨てるように置き  
大急ぎでパンツを下ろしながら腰を下ろす…  
ずっと我慢しながら歩いたせいで汗でベチャベチャだ…

はあ…はあ…  
やっとおしっこ出来る…

ん…

ん…

なんでスライムが  
こんな変な性質持ってるのよ…





ふう...ただ股間の力を抜いただけで勢いよくおしっこが  
出てくる...  
今までの苦痛が嘘みたいに消えていく...



ほお〜……

あ……

ふわあ……やばあ……  
限界まで我慢したせいにかめちやくちや気持ちいい……♡

あまりの快感のためかトリップしてしまった……



あたりにはムワツとしたアンモニア臭が広がりがり  
これならば十分獲物もおびき寄せられるんじゃないかな？

はあ〜…それにしても  
全然止まらないなあ…

どんだけ溜まってたんだよ…

相当溜まってたのか勢いが衰えない…  
いつも以上に長いおしっこに見入って周りの警戒を怠ってしまった。



べちゃっ、という音と肩に軽い衝撃を覚え目を向けると  
ピンクっぽい粘液がマントにへばりついていていた。

べちゃっ

ん……？

ぼーっとしていたせいか一瞬何が起きているのか気付かなかった。

自分の肩に落ちてきた物に気付いたとき  
信じられないくらいマヌケな声が出てしまった。

おしっこ中で意識が緩んでるせいで判断が遅れる。





サツと横に目を向けると杖がスライムに飲み込まれつつあった。  
スライムのような魔物には物理攻撃が非常に効きづらい。  
錬金術しか取り柄のない私は杖がなければ魔法も使えない。

なっ、ああっ!!  
杖がっ!!

おしっこの勢いも弱まってきていたが慌てて杖に手を伸ばそうとするが…





痛あつ!?

くうう…おもいつきり自分のおしっこの上に尻もちをついてしまった…

びしゃ

ん

びちゃ

ひぁぁぁっ!?

ちょ、ちょっと  
こんなに大量にいるなんて聞いてないッ!

体に降りかかるスライムを払いながら周りを見ると  
壁や天井、床の隙間からスライムがどんどん染み出してくる。





あ……やっとなんか……

こんなの対処しきれない  
早く逃げないとっ！

おしりがおしっこ塗れただけで拭いてる暇はない……  
とにかく杖だけでも回収して早く逃げよう！



なんとか立ち上がろうとしていたらジワジワとスライムがくっついた部分が溶けていく。

なにああ……っ!!

服が……っ、溶けて!?

腰が抜けてしまったのか足に力が入らない…、なんでこんな時に…ッ  
そうやって手間取っているうちにもスライムの量が増えていく。

天井から落ちてきたスライムが体中に降り掛かり  
下着まで溶けてきた。なんとかしようと思いついたのに  
体が思うように動いてくれない。

ああああ…クソッこんな時に  
なんで足に力が…ッ

どろろ

ああっ、嫌ッ、こっちに  
来るなああッ

ゴッポ

ゴッポ

冒険者たちがなぜ依頼を受けてくれないかこれでよく分かった…  
こんなに大量のスライム、対処できるわけがない…  
護衛も雇わずこんな所に来た後悔が頭の中でグルグル回る。





こうして通路を埋め尽くすほどのスライムに飲み込まれていく



うぐぐぐ……っ！……だめだ……スライムは内側を自由に動かせるのか  
柔らかいのに関節が固められて動けない……

く……うらや  
こんな所で死にたくないっ！

なんとかか……  
なんとかしないと……!!

必死にこの状況をどうにかする方法を考えるが何も浮かばない……



何も出来ずに藻掻いていたらシュワシュワ音を立てながら急激に服が溶け始めた。

ひああああっ!!

ふ、服がー気だ!!

ああああっ!!ダメダメダメメツ!!まって!!  
まだ死にたくない!!嫌あ——!!





あ…あれ……？急激に服が溶け出したから焦ってていたけど…  
一向に皮膚が溶ける感覚がない…？

も…もしかして…  
溶かしているのは服だけ…？

じゅ…油断も出来な…  
じゅ…

結局、服も装備も全部溶かされてしまった……結構貴重な物だった  
あったのに……ううう……でも身体は溶かされていない……

このスライムは体液に  
寄ってくるってことは……？

もしかして……  
体液を提供すれば助かる……？

もしかしたら生きて帰れるかもしれない……  
こんな格好で見つからず帰るのはキツイけど……私の予想……当たって……っ！



スライムが盛り上がり触手のような形をして私の顔にゆっくり近づいてくる…

ひぁッ!? な、何?

う…

ニル…

ヌル…

ちよつ、ちよつと  
何を…っ?

顔に近づくとってことは唾液とかを吸収するためだろうか…?  
こんなヌメヌメしたものを口に入れるのは抵抗が…





ぐんぐん!!

おぼんおぼん!!?

ぐんぐん



んぐぐぐう——ッ!? こ、こいつッ、喉の奥にッ!?  
無理矢理お腹の中に入れてくるっ!?

んぐぐ

おっ  
ぷぽっ

ぷぽっ

舌で押し出そうとしているのにどんだん口の中に入ってくる…っ!  
う…い、息が出来ない…!?



もう……だめ……い、意識が、あ、ああ……

お、あっ、あ、あ……ぐるじ……し、しんじやう……  
も、もう、これ以上っ、入らない——………ん

はあ……はあ……し、死ぬかと思った……  
う……ぐうう……お腹……苦しい……

こんなにスライムを飲み込んでしまったら大丈夫なの……？  
お腹の中でグルグル動いてるう……ど、どうすれば……





はぁ...

はぁ...

ゴボ...

ゴボ...

ふう...ふう...身体が熱い...  
さっきのスライムのせい...?  
より体液を出させるために  
わざわざあんなことを...?





はあ…はあ…な、なんだか急に胸が  
張って来て乳首がジンジンする……  
今はそんな時期じゃないはず……

うう…気持ちいい……  
ぬるま湯に浸かりながら  
性感マッサージ受けてるみたい……

ブルッ

トロ……

トロッ

トロッ

はぁ……

はぁ……



ッ!?  
スライムが体内で蠢くたびに  
耐え難いほどの快感が腰から  
広がってくる!?

あ、くっ  
嫌ッ、ああん♡

うおっ!?!  
す、スライムが  
中にッ

股間に圧力を感じたと思ったら  
ヌルッと膣口とアナルをこじ開け  
スライムが体内に侵入してくる。

くっ  
ぽっ

くっ  
くっ

くっ  
くっ

ん  
ん





おおっ♡……あひあっ♡  
だっ、だめっ、♡イクっ  
イクっ、イクウウウウッ♡

あっ♡  
ぞっ♡

ひっ、イッ!? スライムがより深いところまでッ!  
まさか、子宮の中まで入ってッ!  
スライムが触れている部分の感度が跳ね上がって  
快感で頭がどうにかなりそうッ!?

ポッ

コッ





こんなこと何回も続けられたら  
身体が持たない……  
逃げられないのに、ど、どうしよう……

はあ、はあ……し、死ぬかと思った……  
スライムの中が白っぽく濁ってる……  
これ……母乳……？まさか……より体液を  
搾り取るために身体が変質させられた……？

ガッ  
ガッ

じょわー

あー

ガッ



自在に形を変えて胎内を蹂躪され全身の体液を絞り出されていく。

イツぎぎぎぎいいー……！  
も、もうゆるじでええええ……！これ以上は  
身体が持たないいいー……？！

イッ  
キ

はっ  
♡

キョッ♡

キョッ♡

ぐちゅ  
ちゅ

ぐちゅ  
ちゅ

ブルッ





んんっ…♡スライムが奥をグリグリしてきて…う…ぐうう…  
おへソの下がどんどん疼いてくるううう…!!


ふっふっ♡

こいつ!!  
どんどん奥に入ってくるうッ♡

ううううう…っ、す、スライムがっ  
子宮口が押し広げられ子宮の中になだれ込んでくるッ♡

グッ  
ニニッ  
ニニッ  
グッ.





は——ッ、は——ッ、や、やっど……止まった……  
イキすぎて、死ぬかと思った……  
ま、まだ余韻が凄すぎてぼーっとしてしまう……

スライムの中で私の体液が溶けてだんだんと白濁してきてる……  
こいつ……どんだけ体液を吸収したら気が済むの……？



お、ああ、来る♥来ちゃうッ♥♥ああああッ  
イ、イクッ♥またっ、イクッ、イグウらうらうッ♥♥

うっ、あ……お腹の中でまた動き出した…!!  
あ……ああ……も、もういい……イキたくない、イキたくないッ!

ひっ

イッ  
イッ

ま、  
まだ、  
来る。

ギッ  
ユルッ

ギッ  
ユル

又  
イッ



おっ  
おっ

ほ  
おっ  
おっ  
おっ

ぶ  
ちゅ

ぶ  
ポッ



だめ……もう……な、なにも、考えられない……  
全身を駆け回る快感に意識が支配されていく。

あ~~~~~、おっ♡♡  
あ、頭ッ、こ、壊れる♡気持ち良すぎて壊れるう♡♡♡








ん…♡あ♡…♡つ♡はあ…♡へ♡へ♡…♡  
ずっとイク感じが続いて気持ちいいのがずっと続いている…♡

は♡あ♡ひ♡つ♡はあ♡はあ♡はあ♡  
あ、あたま、こわっ、こわれちゃったあ♡♡♡



このまま私の身体から体液が出なくなるまで  
スライムに蹂躞され続けた……………









~~~~~おあッ♡~~~~~  
お腹の.....中.....引きずり出されるッ  
ひゃ、ひゃららら.....おまじららら.....♡♡♡

おっ♡

てろん

こほ...

たのたの


がっがっ

おっ♡



お…へえ…♥…ぜ、ぜんぶ…で、たあ…♥  
や…やと…スライムが…減ってきた…  
もう…何も…出ない…

よ、余韻が、すごすぎて…ち、ちからが…はいらぬい…  
…い、いまのうちに…帰らない…と…  
う…だめ…も…眠い…



完全に気を失った私はその後、記憶は曖昧だが  
目を覚まし、フラフラと人目を気にする余裕もなく家に帰った…



はー！♡

はー！♡

ぐちゃ、

ぐちゃ

あれから数日が経った……  
あれから私の身体は常に性欲が溢れ出る様になり  
ふと気を抜くと1日中オナニーしてしまつようになってしまった……

なんとか店は開いてはいるが性欲を抑えられず早仕舞いを繰り返して  
売上がどんどん減つていつ……  
借金してなんとか家賃は払つたもの……  
このままじゃ……





このままじゃダメだって頭では分かっているのに  
身体が勝手に動いてしまう……

商品だって作らなきゃ…在庫だって余裕が無くなってきてる…  
これが終わった今度こそ仕入れを……ッ



あつ、あつ、き、来たッ♡またすごい強烈な絶頂感がこみ上げてくるッ♡  
閉じきらなくなってしまったアナルを締めるように力を入れて  
全力でイクのを我慢してからイクと何もかも忘れるくらい気持ちいい♡

イクのを我慢していると肥大化したおっぱいがどんどん張って来るのを感じる…  
私がイク時、男性の射精みたいに母乳が勢いよく吹き出してしまって困る……





あれだけ激しくイッてもオマンコから手を離せない……  
絶頂の余韻とともにまたジワジワと股間が疼いてくる……

あ~~~~♡ひゃひっ♡は~~~~♡はあ~~~~♡  
き、きもち、よすぎる……♡きもち、いいのがずっと続いて  
何もかもがどうでも良くなる……♡

ハビッ♡  
↑♡

ハ~~~~♡  
↑♡

↑♡

↑♡

↑♡

ド~~~~♡


ド~~~~♡



あ……ダメだ……また抑えられなくなってきた……♡

ハ——！——♡  
♡♡♡♡♡

あ……ダメだ……また抑えられなくなってきた……♡



あと一回が止まらず何度もしてしまい  
今日も店は開けられず一日が終わった……



# エロスライムダンジョン

～スライム素材を取りに来たはずが快樂漬けにされました～